



訓戒処分の武漢医師李文亮との対話 : 医師免許はまだ取り消されていない 私は回復する

南都即時 www.oooo.com 2020-01-30 22:54 来源 :

最近、武漢の医師が感染症の流行に関する情報を発し訓戒処分を受けたという情報が白熱した議論を引き起こした。

2019 年 12 月 30 日午後、南都記者は、武漢市中心医院の李文亮医師が華南海鮮市場での感染症流行に関する情報を同級生の間に発信したことを知った。ほどなくして、管轄区域の派出所から「インターネットに虚偽の情報を投稿した」ため、警告・訓戒処分にあったというのだ。

1 月 30 日、南都記者は、感染した李文亮医師と微信 (WeChat) 経由で接続した。李文亮によると、先に彼がリリースした情報は、それ以前に確認された、ある症例の検査報告に基づくものだという。さらに、**SARS** だという情報は不正確だったと考えて、『これはコロナウィルスであり、ウィルスをいま分類しているところだ』とその後の **WeChat** グループで強調している。

李文亮は、南都記者に対し、訓戒処分後も第一線で働いており、『医師免許を取り上げられた』ということは事実ではないと語る。**1 月 8** 日、彼は診察の際に原因不明のウィルス性肺炎患者に出会い、その後彼にもまた咳や発熱などの症状が現れた。**1 月 24** 日からこれまでの間、彼は武漢市中心医院の呼吸器内科の **ICU** で治療を受けており、彼の両親もまた発熱と嘔吐のために別の病院で入院治療を受けている。

李文亮は、現在自分には生命の危険はなく、約半月で肺機能の大半を回復できると語った。今後の計画について、彼は「感染はまだ拡大しており、私は逃亡兵にはなりたくない。治ったらまた最前線に戻らねばならない」と語った。



李文亮

南都： 現在はどうのような状況ですか？

李文亮： ひたすら院内の **ICU** にいます。ずっと点滴を受けており、未だに自発的呼吸ができず、高流量の酸素吸入が必要です。メンタル状態は悪くなく、携帯で断続的にインターネットにアップしています。今は命に危険はありませんが、肺機能を取り戻すには長い時間がかかります。**ICU** には家族の入室が許されないため、日用品の購入を手伝ってくれた病院の同僚たちにとっても感謝しています。

南都： 貴方が訓戒されたのはなぜですか？

李文亮： **2019 年 12 月 31** 日午後 **5** 時過ぎに、大学のクラスメートの **WeChat** グループに『華南海鮮水果市場で **SARS** 患者 **7** 人を確診』というテキストメッセージを投稿しました。さらに『今ウィルスのタイプを特定しているので、皆には外部に拡散せず、夫々の家族や親しい人たちに予防に注意を払うように』と強調したメッセージを送りました。**1 月 3** 日、派出所が訓戒を書いたとの通知を受けました。



WeChat のスクリーンショットの文字を翻訳して書き起こしました：

左側>>2019 年 12 月 30 日 午後 5:43

発信者：李文亮 武漢 眼科

『華南水果海鮮市場で 7 名の SARS を確診』

発信者：李文亮 武漢 眼科

報告書の写真に見える文字を以下に記します：

二、MAPMI 検査結果と題する報告書の写真と肺の CT 画像

臨床病原体スクリーニング結果

「SARS コロナウィルスや緑膿菌、46 種の口腔/気道細菌」

発信者：李文亮 武漢 眼科

「当医院后湖院の救急診療科で隔離中」

右側>>2019 年 12 月 30 日午後 6:42

発信者：李文亮のクラスメートの一人

『僕らのクラスグループが閉鎖されることに注意を払え』

発信者：李文亮 武漢 眼科

『最新情報によるとコロナウィルスへの感染は確定している。今タイプを同定中』

発信者：李文亮 武漢 眼科

『みんな、外には拡散させないで、家族や親しい人達に予防に注意するようにさせてくれ』

発信者：李文亮 武漢 眼科

『1973 年、コロナウィルスはまずニワトリから分離された。1965 年、ヒトから初めてコロナウィルスが分離された。電子顕微鏡下では外膜上に明確な棒状粒子が飛び出しており、その形から中世の欧州における帝王の王冠に似ていることから『コロナウィルス』と命名されている。1975 年、ウィルスの命名委員会が正式にコロナウィルス科と命名。。。』

訓戒書にはインターネット上で虚偽発言を公開したことが違法行為だと示されていました。そ

の当時、拘留されない方がよいと私は考え、直接署名することにしました。
このことが発生した後も私はまだ病院で通常に勤務を続けていました。
ネット上で誰かが『医師資格を取り消された』と言っているのを見ましたが、この点については明確にしておく必要があります。私は発症するまでずっと病院で勤務していました。ということで、私の医師資格が取り消されたというのは事実ではないということになります。

南都： 貴方はどのように感染したのですか？

李文亮： 1月8日に82歳の女性患者1名を診察したのですが、彼女は急性閉塞隅角緑内障で受診していたのです。私たちは患者に接触する際には特殊な防護をしますが、この通院患者を診察した際には発熱も見られず、私がうっかりしていました。でも、翌9日に彼女は発熱しました。彼女のCTを終え、私は彼女がウィルス性肺炎ではと強く疑いました。なぜならば、彼女の症状に『両肺のすりガラス様病変』のあることをCT画像が示しており、これはウィルス性肺炎の症状だからです。さらに、常見されるウィルス感染症やマイコプラズマ及びクラミジア感染症の状況は排除されていました。ただ、病院には患者を検査確定するための検査キットがまだ無かったため、その時点では診断はできなかったのです。彼女は1月8日に入院し、私には1月10日に咳の症状が現れました。その後、私の症状は深刻な状態に発展し、ICUに入ることとなりました。

南都： 貴方の家族はどんな感じ？

李文亮： 私の両親にもまた『肺のすりガラス様病変』が現れ、今は武漢市内の他の病院内入院治療を受けていますが今のところ命の危険はありません。妻と子供は、現在武漢にはいないのでとても安全です。
私は今妻と毎日 WeChat やビデオで交信していますが、彼らは私を励ましてくれています。

南都： スクリーンショットを拡散した後に何らかの圧力はありましたか？

李文亮： WeChat で発信したスクリーンショットはあまりにも拡散し過ぎました。でも、たくさんの人がサポートしてくれているのを見て、私はほっとし、大変感動しました。自分の病状については、私は今もまだ楽観的です。肺機能の大部分が回復するまで、あと半月はベッドにいなればとみえています。

南都： 回復後の計画は？

李文亮： 治ったらまた第一線に戻らねばなりません。感染の流行はいまだに拡大しており、逃亡兵にはなりたくないのです！ この感染後のことについては、あまり考えていません。

南都記者： 毛 淑傑

<http://www.oeeee.com/mp/a/BAAFRD000020200130255882.html>

Talking with Wuhan doctor Li Wenliang who was warned: I haven't been revoked, my body recovers

Nandu Instant www.oeeee.com 2020-01-30 22:54 Source:

Recently, a news that doctors in Wuhan were warned by issuing information on the epidemic has caused heated discussion.

Nandu reporter learned that on the afternoon of December 30, 2019, Li Wenliang, a doctor from Wuhan Central Hospital, released information about the epidemic situation of the South China seafood market among his classmates. Soon after, he was issued a warning and admonishment by the police station in his jurisdiction because he "posted untrue statements on the Internet."

On January 30, Nandu reporter connected the infected doctor Li Wenliang through WeChat. According to Li Wenliang, the information previously released came from a case report of an earlier confirmed patient. Moreover, considering the statement of SARS was inaccurate, he subsequently released the next information emphasizing "it is a coronavirus and the virus type is now being investigated" in his WeChat group.

Li Wenliang told Nandu reporter that after the admonishment incident, he has been working in the front line, and it is not true that "the doctor's license was revoked". On January 8, he encountered an unexplained viral pneumonia patient at the time of the consultation, and then he also developed symptoms such as cough and fever. From January 24 to now, he has been treated in the Intensive Care Unit of the Department of Respiratory Medicine of Wuhan City Central Hospital, and his parents have also been hospitalized in another hospital due to fever and vomiting.

Li Wenliang said that he is currently not in danger of life and can recover most of his lung function in about half a month. Regarding tomorrow's plans, he said, "The epidemic is still spreading and I don't want to be a deserter. After recovery, I still have to go to the front line."

<<Picture of Li Wenliang >>

Nandu: How are you now?

Li Wenliang: I have been in the intensive care unit of our hospital. I have been injecting recently and still cannot breathe spontaneously. I need high flow oxygen inhalation. Mental status is not so bad, I can use the mobile phone to upload on the net. At present, I am not in danger of life, but it takes a long time to recover my lung function. Family members cannot enter the intensive care unit. I am very grateful to the colleagues in the hospital who helped me buy a lot of daily necessities.

Nandu: Why were you admonished before?

Li Wenliang: At 5:00 pm on December 30, 2019, I posted a text in the WeChat group of university classmates "7 SARS diagnosed in the South China Seafood and Fruit Market". I also sent a message in the follow-up group to emphasize that "the virus typing is in progress. Please do not pass it on, everyone!" and "let your family members and relatives pay attention to prevention." On January 3, I was informed that the police station filled out an admonition. The disciplinary paper shows that the publication of untrue statements on the Internet is illegal behavior. At that time, I thought that it would be good not to be detained, so I signed it directly.

<<Photo: Screen shot of the WeChat>>

After this happened, I still work normally in the hospital.

I saw someone online saying that I was "revoked for a doctor's license". I need to clarify this. I had been working in the hospital until I got sick, and this means my being revoked for the license untrue.

Nandu: How did you get infected?

Li Wenliang: On January 8, I received an 82-year-old female patient. The disease she saw was acute angle-closure glaucoma. We usually do not have special protection when contacting patients, and when the patient came, she did not have fever, so I was so careless. However, the next day, on the 9th, she started a fever. When her CT was done, I highly suspected that she had viral pneumonia. Because CT showed that her symptom was "pulmonary glass-like lesions", which is a manifestation of viral pneumonia. Moreover, common viral infections, mycoplasma and chlamydia infections have been ruled out. However, because the hospital did not yet have a testing kit for diagnosing patients, she was not diagnosed at that time. She was hospitalized on January 8, and I had a cough symptom on January 10. Then my condition developed severe symptoms and I was admitted to the intensive care unit.

Nandu: How is your family?

Li Wenliang: My parents also had a "pulmonary glass-like lesion" situation. They are currently hospitalized in other hospitals in Wuhan and there is no danger of life. My wife and child are not in Wuhan now, they are very safe. I am now talking with my wife every day on WeChat chatting and video conversation, which encourage me.

Nandu: Is there any pressure after the release of screenshots?

Li Wenliang: The screenshot I sent in WeChat was spread too widely. However, seeing everyone support me, I got more relaxed and moved. I am still optimistic about my condition. It is estimated that it will take half a month to lie in bed to allow most of the lung function to recover.

Nandu: What are your plans after recovery?

Li Wenliang: After the recovery, I still have to go to the front line. The epidemic is still spreading and I don't want to be a deserter! As for what will happen after this epidemic, I haven't thought much about it.

..... 以下是中国語原文

对话被训诫的武汉医生李文亮：我没被吊销执照，身体恢复还上一

南都即时 www.ooooe.com 2020-01-30 22:54 来源：

近日，一则武汉医生发布疫情信息被训诫的消息引发热议。

南都记者了解到，2019年12月30日下午，武汉市中心医院医生李文亮在同学群中发布关于华南海鲜市场疫情的信息。不久后，他因“在互联网发布不实言论”，而被辖区派出所提出警示和训诫。

1月30日，南都记者通过微信连线被感染的医生李文亮。据李文亮介绍，其此前发布的信息来自一例较早确认患者的检测报告。而且，考虑到SARS的说法不准确，他后续在发布信息的微信群中强调“是冠状病毒，病毒正在分型”。

李文亮告诉南都记者，训诫事件发生后，自己一直在一线工作，网传“被吊销医师执照”不实。1月8日，他在接诊时遇到不明原因的病毒性肺炎患者，随后自己也出现咳嗽、发热等症状。1月24日至今，其一直在武汉市中心医院呼吸内科重症监护室接受治疗，其父母也因出现发热、呕吐等症状在另一家医院住院治疗。

李文亮介绍，自己目前无生命危险，大约半个月后能恢复大部分肺功能。关于未来的计划，他说，“疫情还在扩散，不想当逃兵。恢复以后还是要上一线。”

<<图：李文亮>>

南都：你现在情况怎么样？

李文亮：我一直在我们医院的重症监护病房。最近一直在打针，还是不能自主呼吸，要进行高流量吸氧。精神状态好了一些，可以断续用手机打字上网。目前，我没有生命危险，只是肺功能恢复需要比较长的时间。家属不能进重症监护室，很感谢医院的同事们，他们帮我买了很多生活用品。

南都：之前为什么被训诫？

李文亮：2019年12月30日下午5点多，我在大学同学微信群中发了一段“华南海鲜水果市场确诊7例SARS”的文字。我后续也在群里发消息强调，正在进行病毒分型，大家不要外传，让家人亲人注意防范。1月3日，我被通知到派出所填了一个训诫书。

训诫书显示，违法行为是在互联网上发布不属实的言论。我当时想着不被拘留已经算好了，直接就签字了。

<<图：聊天截图。>>

这个事情发生后，我还是在医院正常上班。

我看到网上有人说我“被吊销执照”，这个我需要澄清一下。我生病之前一直在医院上班，被吊销执照一说不属实。

南都：你是怎么被感染的？

李文亮：1月8日，我接诊了一位82岁的女性患者，她就诊的疾病是急性闭角型青光眼。我们平时接触患者也没有做特殊防护，病人来的时候也没发热，我就大意了。不过，第二天也就是9号，她就发烧了。等她CT做完，我就高度怀疑她是病毒性肺炎。因为CT显示，她的症状是“双肺磨玻璃样病变”，这是病毒性肺炎的表现。而且，已经排除了常见病毒感染，支原体、衣原体感染等情况。不过，因为医院还没有用于检测确诊病人的试剂盒，当时并没有给她确诊。她1月8号住院，我1月10号就出现了咳嗽症状。随后我的病情也发展出现严重症状，并住进了重症监护室。

南都：家人情况怎么样？

李文亮：我父母也出现“肺部磨玻璃样病变”的情况，目前在武汉其他医院住院治疗，暂时没有生命危险。

我爱人和孩子目前不在武汉，他们很安全。我现在每天都和爱人微信聊天、视频，他们也会给我加油鼓励。

南都：发布截图扩散后有没有压力？

李文亮：我在微信群发信息的那张截图传播太广了。不过，看到大家都支持我，我就更放松了，很感动。对病情，我还是比较乐观的。估计还要在床上躺半个月，才能让肺功能大部分恢复。

南都：康复后有什么计划？

李文亮：恢复以后还是要上一线，疫情还在扩散，不想当逃兵！至于疫情以后的事，还没想太多。

采写：南都记者 毛淑杰

20200130C 医師免許はまだ取り消されていない 私は治る : 武漢医師李文亮との対話(南都即時)